

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	書道	
科目基礎情報							
科目番号	0005			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	書Ⅰ：井茂圭洞 他（光村図書）、ペン習字の基礎：石川 芳雲（教育図書）						
担当教員	越智 珠理,南 保子						
到達目標							
書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばすことを目標とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
楷書		書の美の多様性を表現できる。		書の美の多様性と技法を理解できる。		基本的な学習方法を身に付けられない。	
臨書		書の美の多様性を表現できる。		書の美の多様性と技法を理解できる。		基本的な学習方法を身に付けられない。	
仮名		書の美の多様性を表現できる。		連綿による流動性、潤滑の変化をとらえることができる。		仮名の成立過程、運筆法を身に付けられない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養 D2							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法		臨書の提出作品、創作作品、鑑賞の方法と内容、授業への取り組み（努力点）で評価する。					
注意点							
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	楷書と芸術、表現技法		書の美の多様性と技法を理解し、表現できる。		
		2週	楷書の用筆・運筆		基本的な臨書の学習方法を身に付けられる。		
		3週	楷書の運筆・字形				
		4週	楷書の臨書				
		5週	楷書の臨書				
		6週	楷書の臨書				
		7週	楷書の鑑賞と創作		創作の方法を習得し、興味・関心を深めることができる。		
		8週	楷書の鑑賞と創作				
	2ndQ	9週	落款と印（篆刻）		落款の意味を理解し、姓名を正確に篆刻できる。		
		10週	落款と印（篆刻）				
		11週	落款と印（篆刻）		篆刻の技法を身に付けられる。		
		12週	落款と印（篆刻）				
		13週	ペン習字（硬筆による書写）		硬筆による書写の技能を身につけられる。		
		14週	ペン習字（硬筆による書写）				
		15週	行書（行書の臨書と鑑賞）		行書の分析的な見方と学習方法を身に付けられる。		
		16週	行書（行書の臨書と鑑賞）				
後期	3rdQ	1週	行書の臨書と鑑賞				
		2週	行書の臨書と鑑賞				
		3週	行書の創作		臨書の成果をもとに模倣し、創作できる。		
		4週	行書の創作				
		5週	仮名の書（仮名の成立と基本線）		仮名の成立過程を学び、運筆法を身に付けられる。		
		6週	仮名の書（仮名の成立と基本線）				
		7週	仮名の書（単体、連綿と美）		連綿による流動性、潤滑の変化をとらえられる。		
		8週	仮名の書（単体、連綿と美）				
	4thQ	9週	仮名の臨書と創作		墨法的美しさ、全体の構成法を習得し、構成美の面白さを生かし、造る喜びを味わうことができる。		
		10週	仮名の臨書と創作				
		11週	漢字仮名交じりの書（調和の美）		古典との関わりを理解できる。		
		12週	臨書		書風・書体の統一と調和を表現できる。		
		13週	創作と鑑賞		自分の感情に合った表現ができる。		
		14週	創作と鑑賞				
		15週	実用の書		日常生活に生かせる書を身に付けられる。		
		16週	実用の書				
評価割合							
	試験	成果物・実技	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	25	0	0	0	0	25
創造性	0	25	0	0	0	0	25
態度	0	50	0	0	0	0	50